

生活科学習指導案

1. 日時 令和〇年〇月〇日 (〇) 第〇時 (〇時〇分) ~ (〇時〇分)

2. 場所 1年〇組 教室

3. 学年・組 第1学年〇組

4. 単元名 きせつとあそぼう -あき-

5. 単元の目標

秋の自然を見付けたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見付けたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりして、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付くとともに、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しんだり、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとしたりすることができるようにする。

6. 教材観

本単元では、自然と触れ合い、関わることを通して、四季の変化を感じ、また見たり感じたりした秋を共有することで、より秋を身近に感じることをねらいとしている。児童が自ら季節の変化に気付いたり、身近な自然物に目を向けたりできるように、春や夏の時期に季節を生かした遊びや体験を十分にしておく。また、夏の頃に自然に親しみ自然を生かした遊びをしている様子の写真等を教室に掲示しておくことで、その体験を想起できるようにし、活動につなげていく。

7. 児童観

省略

8. 指導観

小学校学習指導要領（平成29年告示）生活科の内容（5）

身近な自然を観察したり、季節や地域の行事に関わったりする等の活動を通して、それらの違いや特徴を見付けることができ、自然の様子や四季の変化、季節によって生活の様子が変わることや気付くとともに、それらを取り入れ自分の生活を楽しもうとする。

を受けて設定した。

秋は、木の実や落ち葉等、児童たちにとって魅力的な自然物が多く見られる。春や夏に季節を感じる活動をした経験を踏まえて、豊かな秋の自然を体感させたい。はじめに、身近な自然や季節の行事について問いかけ、知っていることや気づいたことを話し合わせることにより、自分と自然とのかかわりに目をむけさせ、季節の変化に関心をもち、進んで秋を見つけようとする意欲をもたせる。次に、公園で見つけた秋の虫・葉・種・木の実等について

夏の頃と比較することを通して、季節の変化に気づかせたい。また、集めた秋の自然物の特徴を生かして、おもちゃ作りを行う。自ら集めてきた秋の素材をもとに、秋の自然物を使った遊びを通して、秋とかかわる楽しさを味わうことができると考える。さらに、つくった秋の自然物でつくったおもちゃで遊んだことを振り返り、遊びがみんなにより楽しくなる方法を考えていく。

また、ICTを活用し、秋とその他の季節との違いや特徴を見付ける際に、これまでに撮影した写真や動画と比較したり、撮影した写真を拡大して木の実や葉などの特徴を観察したりする。そうすることで、気づきの質を高めることができると考える。

この単元を通して、自然物を使って遊ぶことの楽しさや、それらを取り入れて自分の生活を楽しくしようとする思いを育みたい。

9. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
秋の自然を見つれたり遊んだりする活動を通して、秋の自然の様子や夏から秋への変化、それを利用した遊びの面白さに気付いている。	秋の自然を見つれたり遊んだりする活動を通して、秋とその他の季節との違いや特徴を見つれたり、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったりしている。	秋の自然を見つれたり遊んだりする活動を通して、季節の変化を取り入れ自分の生活を楽しくしたり、みんなと楽しみながら遊びをつくり出そうとしたりしている。

10. 単元の指導と評価の計画（全9時間）○：記録に残す評価 ●：指導に生かす評価

時	学習内容	評価の観点			主な評価規準【観点】 (評価方法)
		知	思	態	
第1時	<秋を見つけよう> 生活の中で見つけた秋の自然を発表する。 秋の自然は、夏と比べて、どのように変わったか予想をする。 みんなですてみたい秋の自然に関する活動を話し合う。			●	【態】身近な秋を進んで見つけようとしている。（観察）
第2時 第3時	<秋を感じよう> 秋の自然を見付けに「あき見つけ」に行く。 校庭に出て、秋の自然の様子を観察したり、春や夏に虫を見つけた場所で虫や虫のすみかを探したりする。 秋の草花や樹木等を観察したり、木の実等を集めたりする。	○	●		【知】夏から秋への自然の様子の変化に気付いている。（ワークシート） 【思】秋の自然の変化を夏の様子と比べながら考えている。（ワークシート）

第4時 第5時 第6時	<p><見付けた秋で遊ぼう></p> <p>集めた自然物の色や形等の特徴をいかして、遊びを考える。</p> <p>遊びを工夫したり、簡単なおもちゃをつくったりして、友だちと楽しく遊ぶ。</p> <p>秋の自然を利用して遊ぶ楽しさについて、友だちと話し合う。</p>	●	●	<p>【思】おもちゃの動きを試したり、友だちのおもちゃと比べたりしながら、繰り返し遊んでいる。(観察)</p> <p>【態】みんなで楽しく遊ぶために遊びの工夫を伝え合い、楽しい遊びを創り出そうとしている。(観察)</p>	
第7時	<p><遊びをふりかえろう></p> <p>どんな遊びをしたのかを全体で共有する。</p> <p>遊んでみた感想や、気が付いたことを話し合う。</p>	●		<p>【思】見付けた木の実や葉、楽しかった活動等について友だちと紹介しあったり伝え合ったりしている。(ワークシート・観察)</p>	
第8時 (本時)	<p><夏と秋をくらべよう></p> <p>タブレットを活用し、夏の写真と秋の写真を比べて、季節の変化や秋の特徴について考える。</p> <p>秋の自然の変化について友だちと伝え合う。</p> <p>友だちと伝え合ったことを、全体で共有する。</p> <p>「はっけん」カードに、自分の見付けた秋の自然の様子や友だちの気が付いたことをまとめる。</p>		○	<p>【思】身の回りの秋の自然について、夏との違いや秋の自然の特徴に気付いている。(ワークシート・観察)</p>	
第9時	<p><秋をふりかえろう></p> <p>これまで記入したワークシートや活動の写真等を見て活動を振り返り、感じたことや考えたこと等をカードに記入する。</p> <p>これまでの活動について、感じたことや考えたことを友だちと伝え合う。</p> <p>季節を生かした遊びや生活について、感じたことや考えたこと、さらに取り組んでみたい活動等をワークシートに記入する。</p>			○	<p>【態】自分たちの生活に身近な自然や季節の変化に関わっていることや、みんなで遊ぶ楽しさを実感し、毎日の生活を豊かに楽しくしようとしている。(ワークシート)</p>

(1) 本時の目標

身の回りの秋の自然について、夏との違いや秋の自然の特徴に気付くことができる。

(2) 本時の評価規準

身の回りの秋の自然について、夏との違いや秋の自然の特徴に気付いている。

【思考・判断・表現】

(3) 本時の準備物

- ・タブレット端末
- ・大型提示装置

(4) 本時の判断基準【思考・判断・表現】

概ね満足できる姿 (B)	努力を要する児童への支援 (C)
身の回りの秋の自然について、夏との違いや秋の自然の特徴に気付いている。	春や夏にかいた自然のおたよりや児童が撮影した写真を確認しながら、変わったところ等を一緒に考える。

(5) 本時の学習過程 ※ICTの活用場面については、テキストに色をつけています。

	◎学習内容・学習活動 ・予想される児童の反応	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
5分 導入	1. 前時の活動を振り返り、本時の学習課題をつかむ。	○前時の活動の話をして児童に思い出させる。	
	なつとあきをくらべて、似ているところやちがうところを見つけよう。		
33分 展開	2. 夏の写真等を見て、夏の校庭について思い出す。	○夏に公園で見つけた虫や葉、実等はどんな大きさや色、形、触った感じ等であったのかを、発見カードや大型提示装置に映し出した画像や動画等で振り返らせる。 ○夏の様子を想起させることで、公園に探検に行った時と様子が変わっていることがあることに気づかせる。	

<p>3. 撮影した写真と夏の写真を比べて変わったところや、秋の様子の特徴を見付ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・服にくっつく実を見つけた。 ・葉がたくさん落ちていた。 ・葉の色が赤や黄色に変わった。 ・どんぐりがたくさん落ちていた。 ・鈴虫やコオロギがいた。 <p>4. 見付けたことや気付いたことを友だちと伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もみじの葉っぱがちがったよ。夏は緑の葉っぱがたくさんあったけれど、秋にはオレンジに色が変わっていた。 ・どんぐりがちがった。夏は木に緑の小さいどんぐりがくっついていてたけれど、秋には茶色の大きいどんぐりになっていた。 <p>5. 全体で発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏と秋をくらべて、秋にはたくさんの葉っぱが地面に落ちていました。落ち葉の上を歩くとカサカサ音がしました。 ・夏は緑だった葉っぱが赤や黄色に変身していました。赤い落ち葉は、赤じゅうたんみたいできれいでした。 ・夏にはセミをよく見たけれど、今は見ません。コオロギやトンボがいました。生き物もちがっていた。 	<p>○これまでに撮影した写真と比較したり、撮影した写真を拡大したりして木の実や葉などの特徴を観察させ、似ている所や違うところを発見させることで、気付きの質を高めるようにする。</p> <p>○友だちに一番見てもらいたいところは、画像にペイント機能を使って丸で囲ませる。</p> <p>○お互いの撮影した写真を見せ合いながら、気付いたことや感じたことを伝え合わせることで、友だちと考えを共有できるようにする。</p> <p>○また、自分の考えと似ているところや違うところに着目させる。</p> <p>○児童が発表する部分の画像を大型提示装置で拡大する等、ICTを活用することで、児童それぞれの気づきを全体に広げる。</p>	<p>身の回りの秋の自然を観察し、夏との違いや秋の自然の特徴に気付いている。(観察・ワークシート)</p>
--	---	---

	<p>6. 秋の季節について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表を聞いて、秋になると葉っぱの色が変わることに気が付いた。 ・春や夏には木についていた葉っぱや実が、秋には地面に落ちていたことが分かった。 ・みんなの考えを聞いて、夏から秋になって、葉っぱや実、虫が変わることを知った。 	<p>○秋について気づいたことの共通点や相違点を見つけさせ、まとめへとつなげる。</p>	
7分 まとめ	<p>7. 秋の自然の様子で気付いたことや、友だちの発表の感想をワークシートにまとめる。</p>	<p>○自分で見付けたことだけでなく、友だちの発表の中からも書いてよいことを伝える。</p>	